



平成18年12月
林野庁 関東森林管理局
中越森林管理署

目 次

	頁
1. 当署の優れたブナ林	1
(1) 苗場山麓のブナ林	1
①フクベ沢のブナ林	1
②和田小屋周辺のブナ林	2
(2) 栄太郎峠のブナ林	3
(3) 当間山のブナ林	4
(4) 小松原のブナ林	5
(5) 田代平のブナ林	6
2. ブナの保護林	7
(1) 林木遺伝資源保存林	7
①小松原ブナ	7
②楢橋ブナ	8
(2) 植物群落保護林	9
①守門岳ブナ	9
②守門ブナ	9
3. ブナの試験地及び指標林	1 1
(1) 漸伐天然更新母樹並びに小径木保残作業指標林の概要	1 1
(2) 苗場山ブナ天然更新試験地の概要	1 2
(3) 当署に係るブナの研究発表の紹介	1 4
4. ブナの思い出	1 5
(1) 大白川地域	1 5
(2) 湯沢地域	1 6
(3) ブナ養苗の塩沢苗畑	1 7

1. 当署の優れたブナ林

(1) 苗場山麓のブナ林

①フクベ沢のブナ林

場 所：新潟県南魚沼郡湯沢町大字三俣字苗場山国有林43林班に7小班外
概 要

このブナ林は、苗場山の南東側に位置し、棒沢へ流入するフクベ沢一帯の森林で、標高約1,200mから1,600mのところにあり、通称フクベノ平と呼ばれ林齢約120年生以上のブナ林が悠然と広がっています。

また、この箇所は、苗場山頂と赤湯温泉をつなぐ登山道（昌次新道）の通り道になっており、多くの登山者に親しまれています。

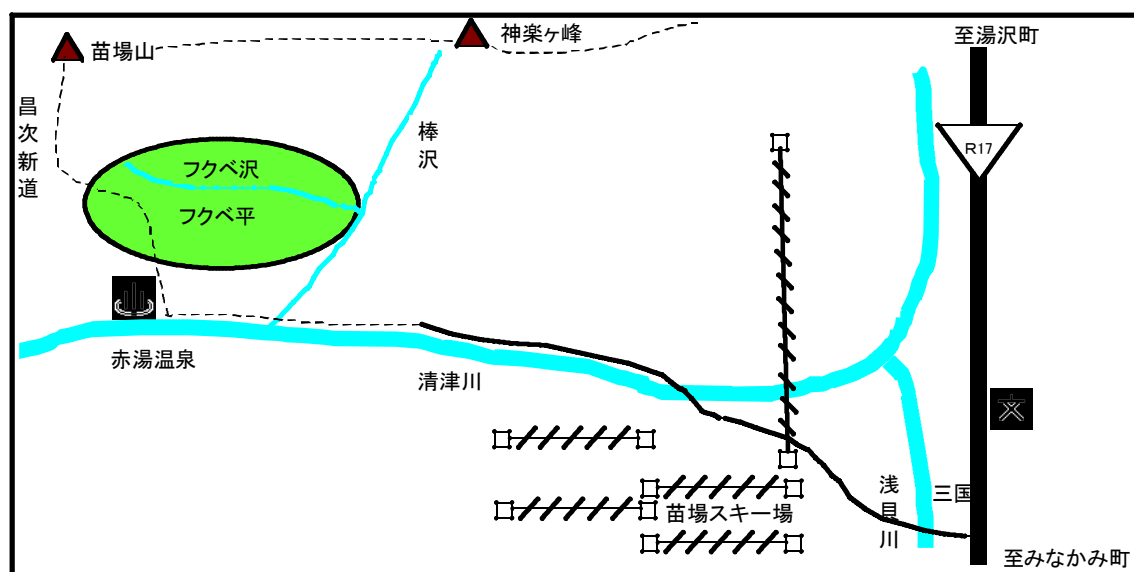
なお、当箇所を含む周辺は、原生林的な森林景観が楽しめることなどから、レクリエーションの森として広くみなさんに利用して頂くために、苗場自然休養林に指定して、自然観察や自然探勝等に利用されています。



(フクベ沢のブナ林)



(フクベ沢の林内状況)



②和田小屋周辺のブナ林

場所：新潟県南魚沼郡湯沢町大字三俣字苗場山国有林26林班り1小班外

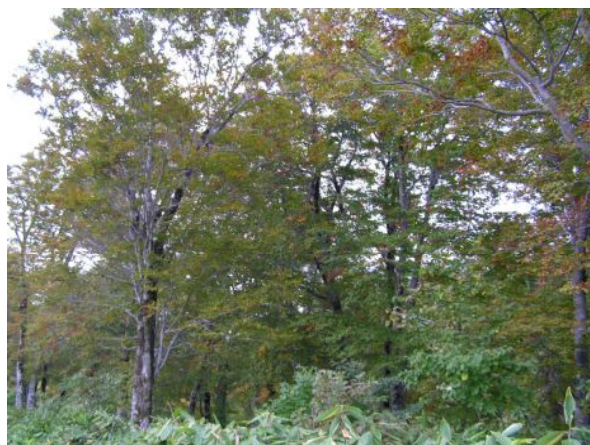
このブナ林は、苗場山の北東側に位置し、かぐら・みつまたスキー場の和田小屋周辺の森林で、標高約1,100mから1,600mのところにあり、林齢約120年生以上の成熟したブナ林です。

また、この箇所は、苗場山登山道入口から苗場山頂への登山道沿いにあり、和田小屋から下ノ芝付近にかけては、ブナ林からアオモリトドマツ（オオシラビソ）林へ変化していく状況が楽しめ、多くのハイカーや登山者に親しまれています。

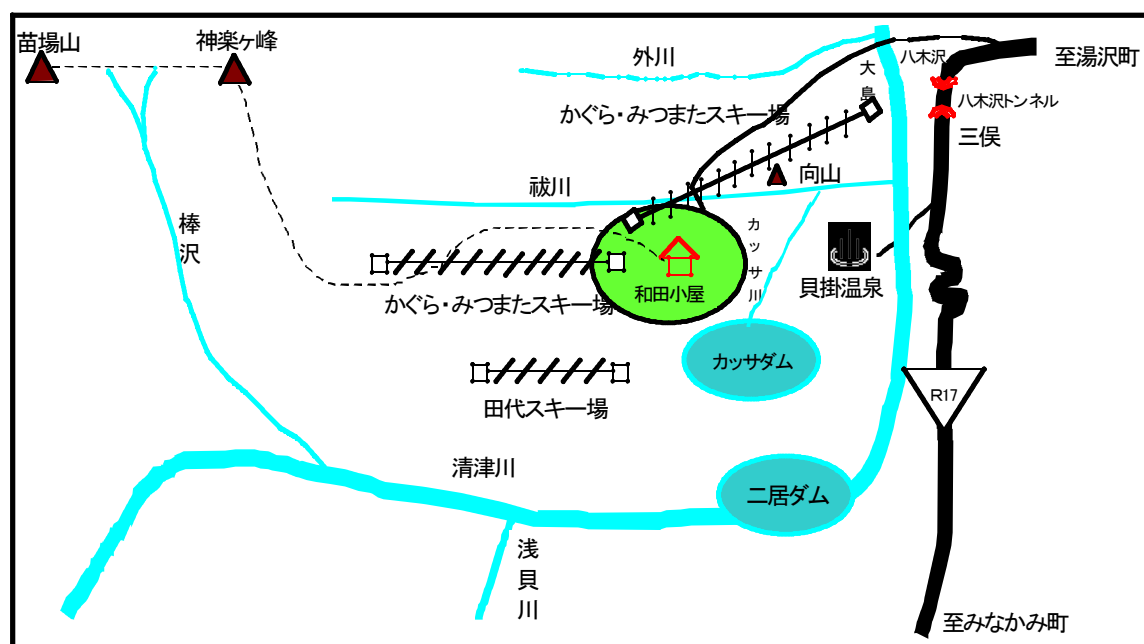
なお、当箇所はレクリエーションの森苗場自然休養林になっており、原生林的な森林景観や周辺にはかぐら・みつまたスキー場があるなど、この一帯は夏は登山やハイキング、冬はスキー等のスポーツを楽しむ多くの人々に利用されています。



和田小屋上方のブナ林



和田小屋下方のブナ林



(2) 栄太郎峠のブナ林

場 所：新潟県南魚沼郡湯沢町大字三俣字ハツ子山国有林101林班ろ1小班外
概 要

このブナ林は、高津倉山の南側に位置し、標高は約800mから1,100mのところであり、通称栄太郎峠と呼ばれる清津川に向いた斜面に群生する林齢約80年生以上の若く美しいブナ林です。

この箇所は、大正13年(1924)から15年(1926)頃にかけて、湯沢の地元住民数名で炭焼きを行い、その後、良い更新条件に恵まれたため、旺盛な天然力により優良なブナの二次林ができました。

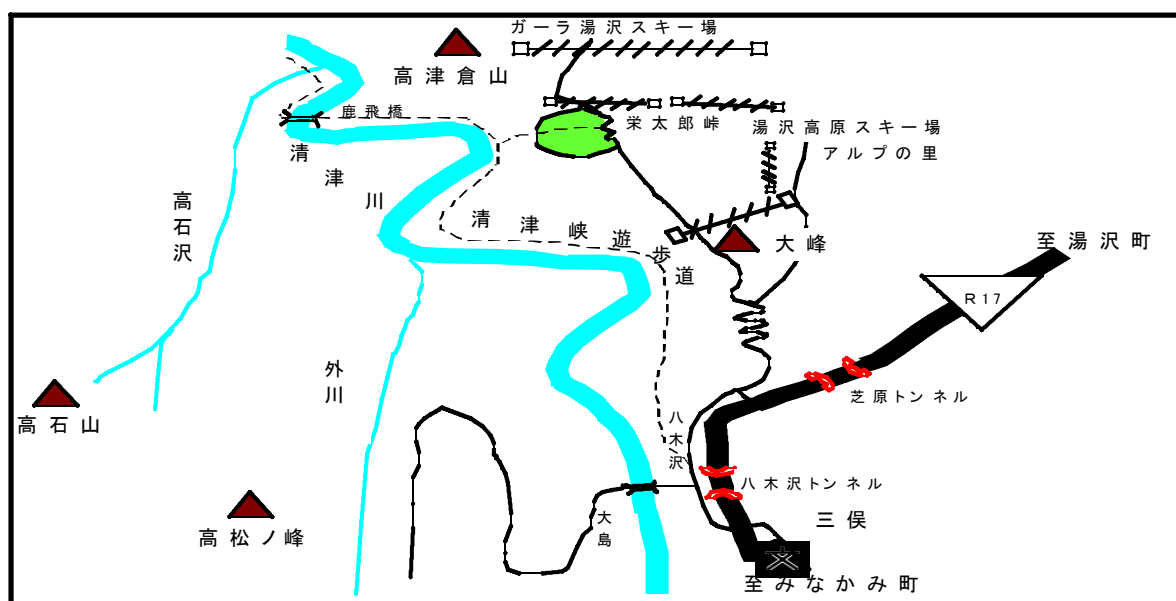
この箇所は、清津峡遊歩道から栄太郎峠までの遊歩道沿いにあり、優れた自然美が多くあることから、春の新緑や秋の紅葉などを求めて、多くのハイカーが訪れます。また、レクリエーションの森野外スポーツ地域にもなっており、周辺にはガーラ湯沢スキー場などがあり、冬はスキー等を楽しむ人々の目を楽しませています。



(栄太郎峠周辺の林相)



(栄太郎峠の林況)



(3) 当間山のブナ林

場所：新潟県十日町市伊達字当間山国有林109林班わ1小班外

このブナ林は、当間山の北西山麓に広がる標高約500mから1,000mの山地に生育する、林齢約50年生から80年生程の比較的若いブナの二次林です。

当地域の山麓付近は、比較的平坦で歩道も整備しており、手軽に自然観察や自然探勝等が出来ることから、当間高原自然観察教育林に指定し、森林教室や野外活動の拠点として利用を図っています。なお、一部はレクリエーションの森野外スポーツ地域になっており、ウィンタースポーツに興じる人達は、上越国際当間スキー場コース周辺で、美しいブナ林を眺めながら楽しんでいます。

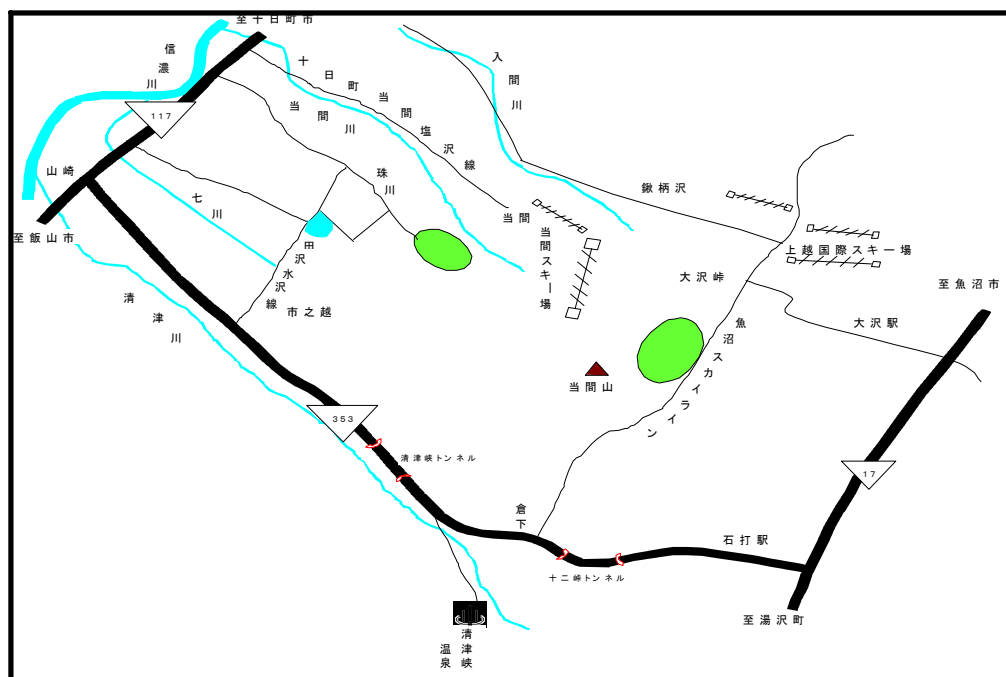
また、綺麗なブナ林がある峰沿には、魚沼スカイラインが走り、優れた展望に加え、春の新緑や秋の紅葉が美しいことから、大勢の人々が訪れています。



(当間山山麓のブナ林)



(魚沼スカイラインのブナ林)



(4) 小松原のブナ林

場 所： 新潟県十日町市小松原字小松原国有林2林班よ小班外
概 要

このブナ林は、新潟県自然環境保全地域特別地区に指定されている小松原湿原の北側に隣接し、標高1,400m付近に生育する林齢約110年生以上の森林です。なお、新潟県内の分布域から見ると比較的標高の高い所で森林を形成しているブナ林です。

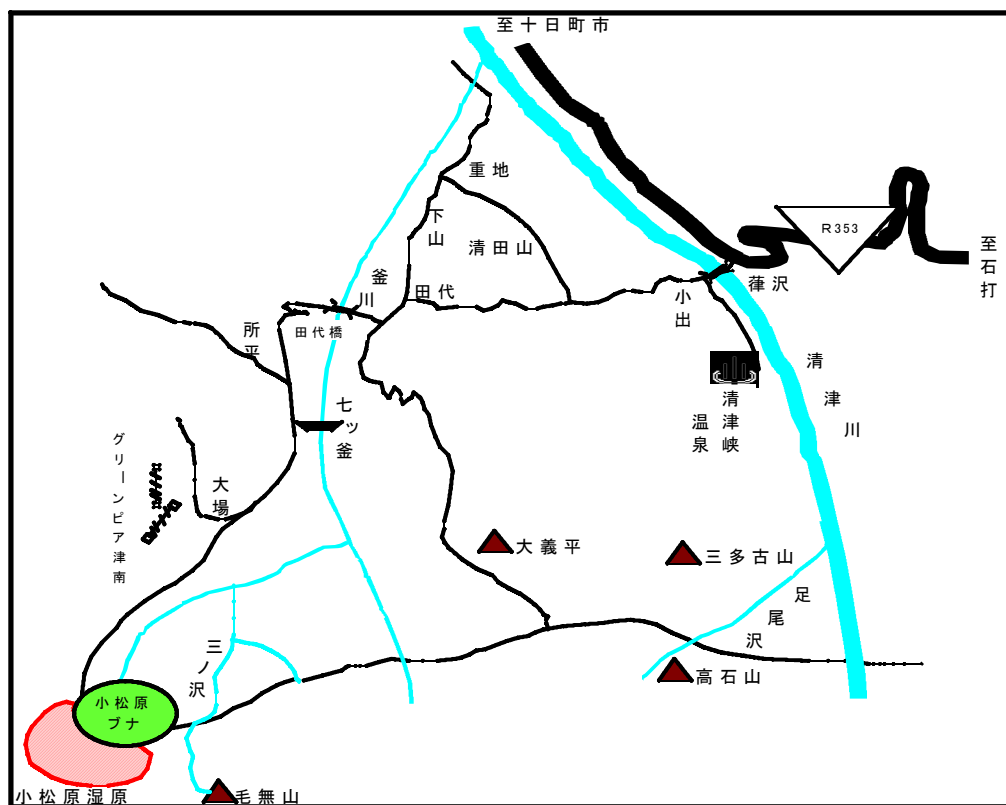
林内の所々では、アオモリトドマツ（オオシラビソ）とブナが競い合ってる様子が見られるとともに、幹にコケが張り付いたブナが多く、成熟したブナ林が広がっています。



(ブナ林の遠景)



(林内の状況)



(5) 田代平のブナ林

場 所： 新潟県魚沼市大白川字浅草山国有林213林班ち小班外
概 要

このブナ林は、鞍掛峠と木の根峠（八十里越峠）の間にある田代湿原の北東側斜面で、標高900mから1,100mのところに成林している、林齢120年生以上の木肌の綺麗なブナ林です。

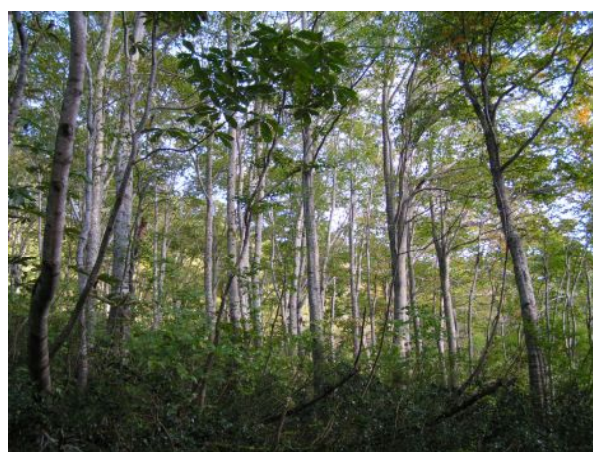
この地域は、豊かな自然環境が多くあることから、越後三山只見国定公園や緑の回廊越後線に指定されています。

特に、田代湿原とそれに隣接するブナ林は、調和のとれた自然美を呈していることから、レクリエーションの森田代平自然観察教育林に指定し、自然観察や自然探勝等の野外活動のエリアとして利用を図っています。

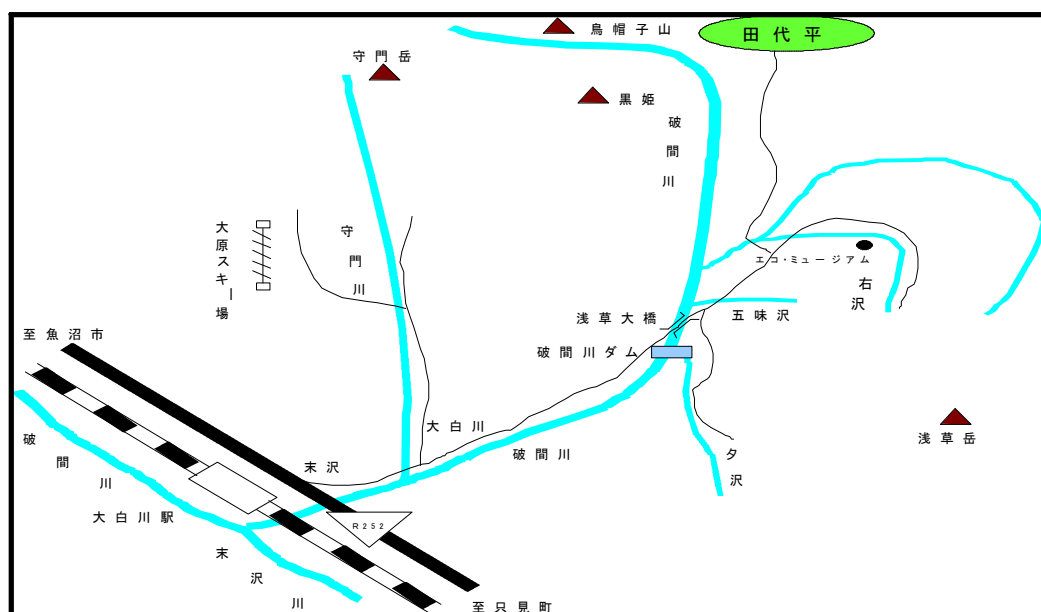
なお、当箇所は比較的平坦部も多く、遊歩道も整備されており、美しい湿原とブナの新緑や紅葉を求めて多くの人々が訪れています。



（田代湿原から見たブナ林）



（田代平のブナ林）



2. ブナの保護林

保護林は、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存を図り、森林施業・管理技術の発展などに役立てることを目的に設定しています。

種類は森林生態系保護地域、森林生物遺伝資源保存林、林木遺伝資源保存林、植物群落保護林、特定動物生息地保護林、特定地理等保護林、郷土の森の7種類があります。

当署管内では森林生態系保護地域、林木遺伝資源保存林、植物群落保護林、特定動物生息地保護林等を設定していますが、特に、ここでは、小松原ブナ及び楢橋^{ほたばし}ブナの林木遺伝資源保存林と守門岳ブナ及び守門ブナの植物群落保護林についてご紹介します。

(1) 林木遺伝資源保存林

① 小松原ブナ

設 定：平成元年（1989）3月31日

目 的：裏日本型北陸・山陰型におけるブナの遺伝資源の保存

場 所：新潟県十日町市小松原字小松原国有林4林班は小班

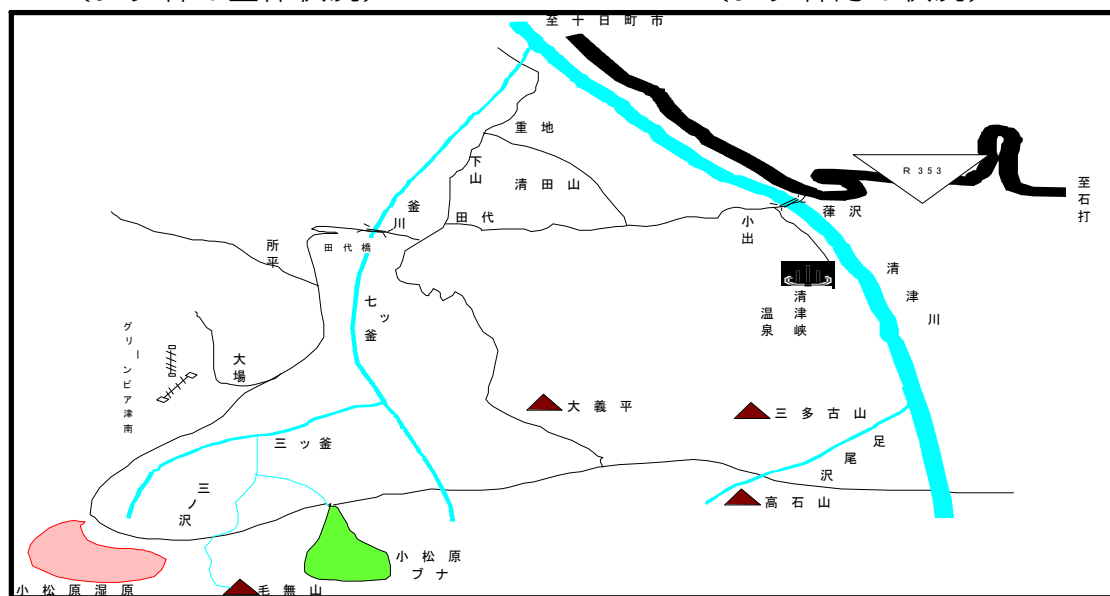
面 積：9.02ha



(ブナ林の全体状況)



(ブナ林内の状況)



② ^{ぼたばし} 榎橋ブナ

設 定：平成5年（1993）1月17日

目 的：裏日本型東北・北海道型におけるブナの遺伝資源の保存

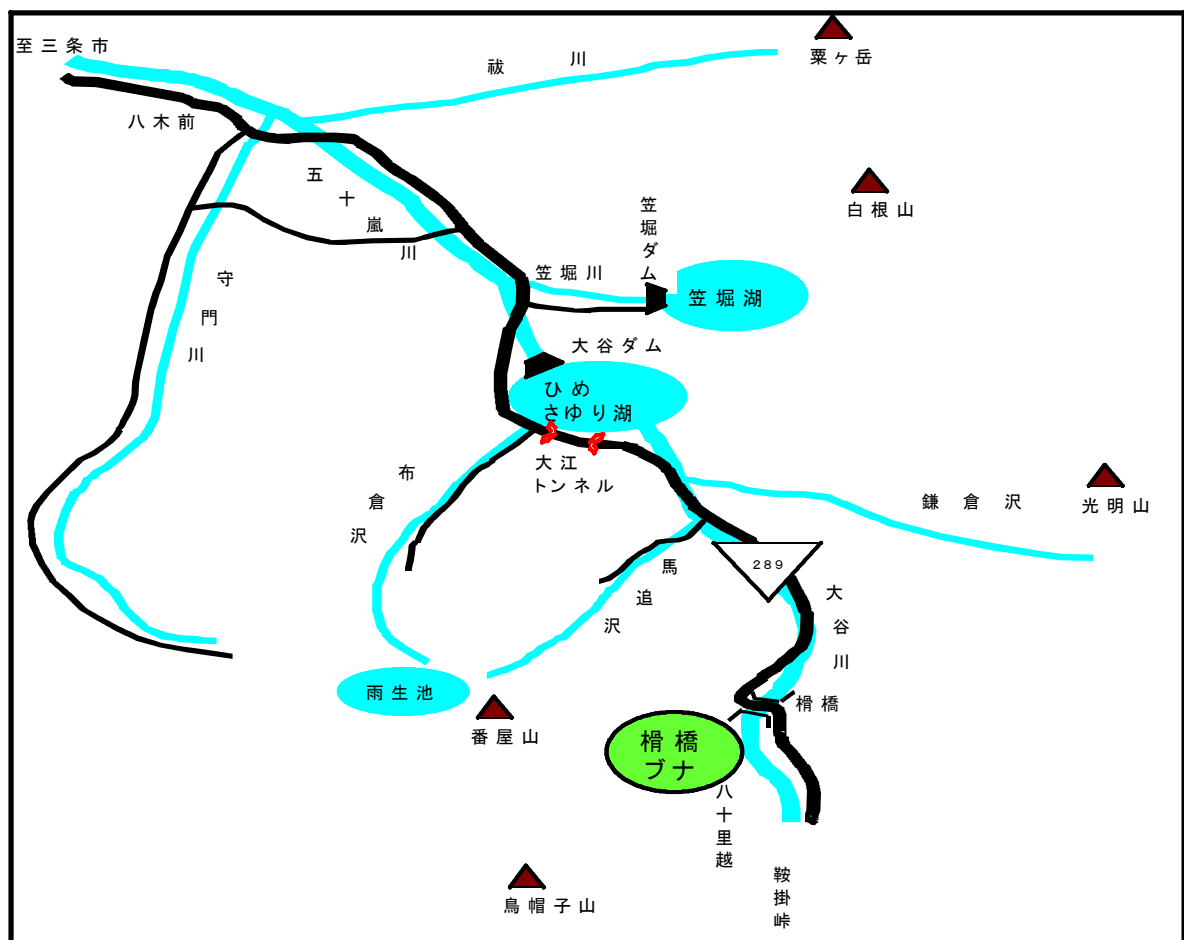
場 所：新潟県三条市大字塩野淵字御所国有林418林班い小班

面 積：17.60ha



（ブナ林の全体状況）

（ブナ林内の状況）



（２）植物群落保護林

① 守門岳ブナ

設 定：平成５年（１９９３）４月１日

目 的：守門岳一帯の豪雪地帯におけるブナを主とする天然林の保護

場 所：新潟県魚沼市高倉字守門国有林２０５林班へ小班外

面 積：１，０７９．３７ｈａ

② 守門ブナ

設 定：平成５年（１９９３）４月１日

目 的：守門岳一帯の豪雪地帯におけるブナを主とする天然林の保護

場 所：新潟県三条市大字遅場字守門国有林４０５林班ろ小班外

面 積：６９８．８９ｈａ



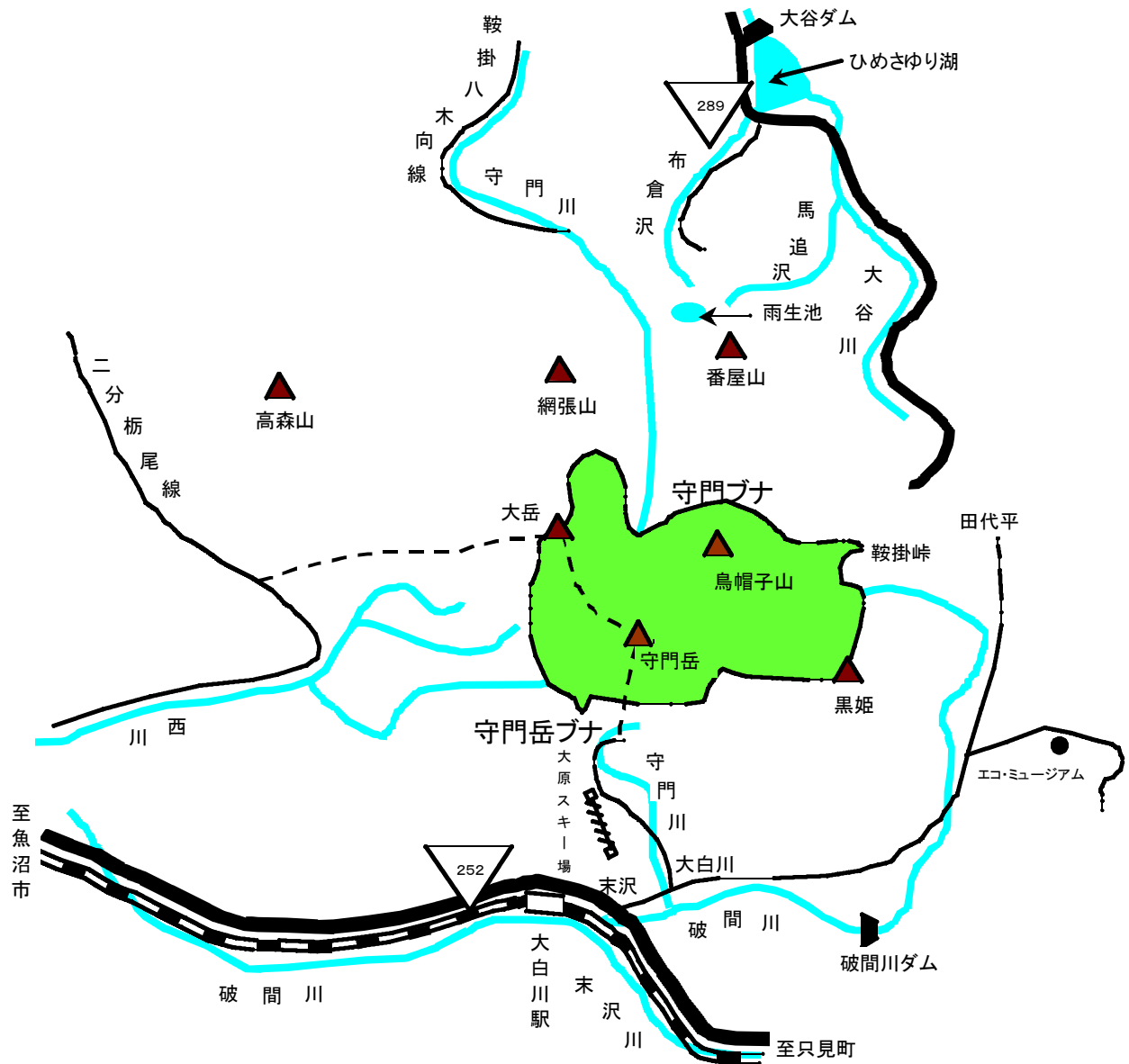
（大岳より春の守門岳を望む）



(大岳付近のブナ林)



(大岳付近のブナ林内)



3. ブナの施業指標林及び試験地

(1) 漸伐天然更新母樹並びに小径木保残作業指標林

設 定：昭和50年（1975）10月

目 的：伐採から保育に至る一貫した施業技術の確立を目指し、施業の指標とする。

場 所：新潟県十日町市小松原字小松原国有林15林班い2小班外

面 積：21.96ha



（設定当時の森林状況）

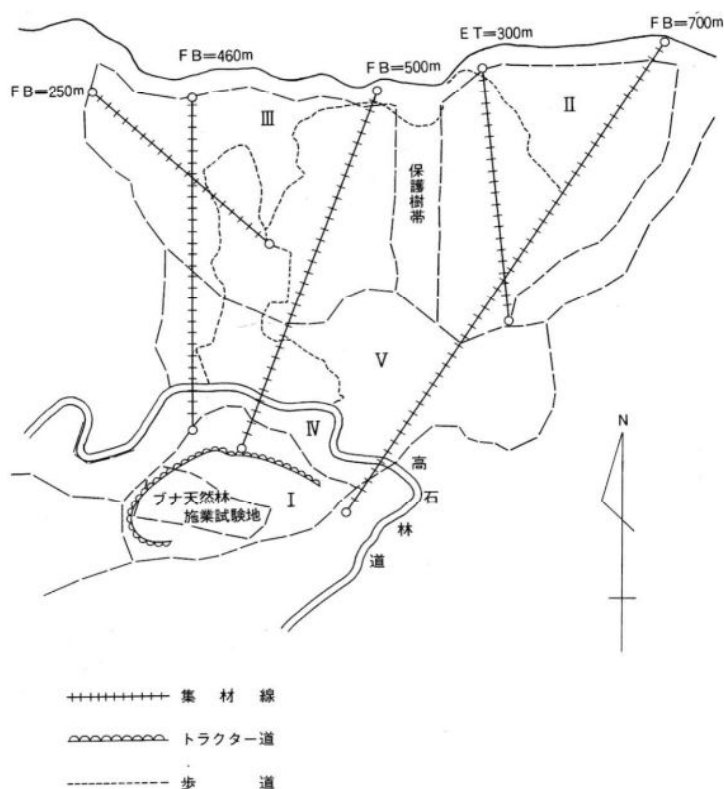


（現在の森林状況）



（現在の林内状況）

位置図兼作業図



伐 区	伐採の方法	面 積 ha	伐 採 率 %	伐採材積 m ³	保 残 木 ha当り			
					母 樹	小 径 木	本	m ²
I 伐 区	皆 伐	3.81	69	449	29	44	769	9
II 伐 区	〃	7.58	68	765	31	40	8,804	20
III 伐 区	〃	8.70	65	779	30	38	716	20
計		20.09	—	1,993				
IV 伐 区	択 伐	1.71	30	69				
V 伐 区	〃	7.40	30	201				
保護樹帯		6.33	—	—				
計		15.44	—	270				
合 計		35.53	—	2,263				

（設定当時のデーター）

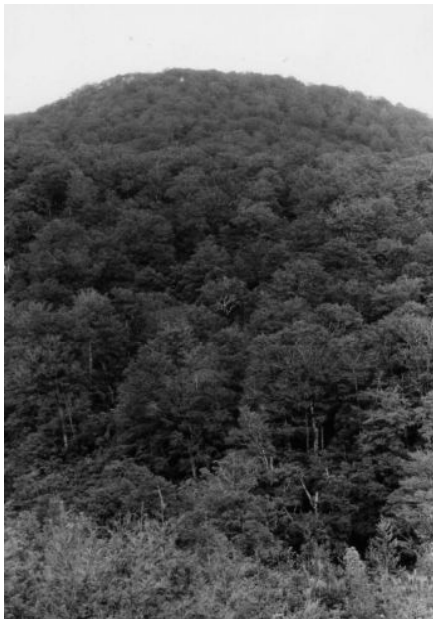
(2) 苗場山ブナ天然更新試験地

設 定：昭和43年（1968）3月

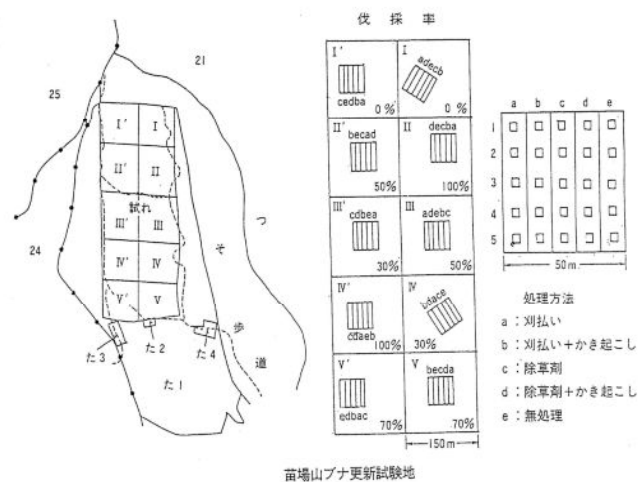
目 的：種子の飛散、落下状況、稚樹の消長並びに消失原因について、林床処理別に基礎調査を進め、主として伐採関係と林床処理別による施業方法を確立する。

場 所：新潟県南魚沼郡湯沢町大字三俣字苗場山国有林21林班れ小班

面 積：22.50ha



（設定前の林分状況）



（設定時の詳細図）



（ブナ種子の飛散調査写真）



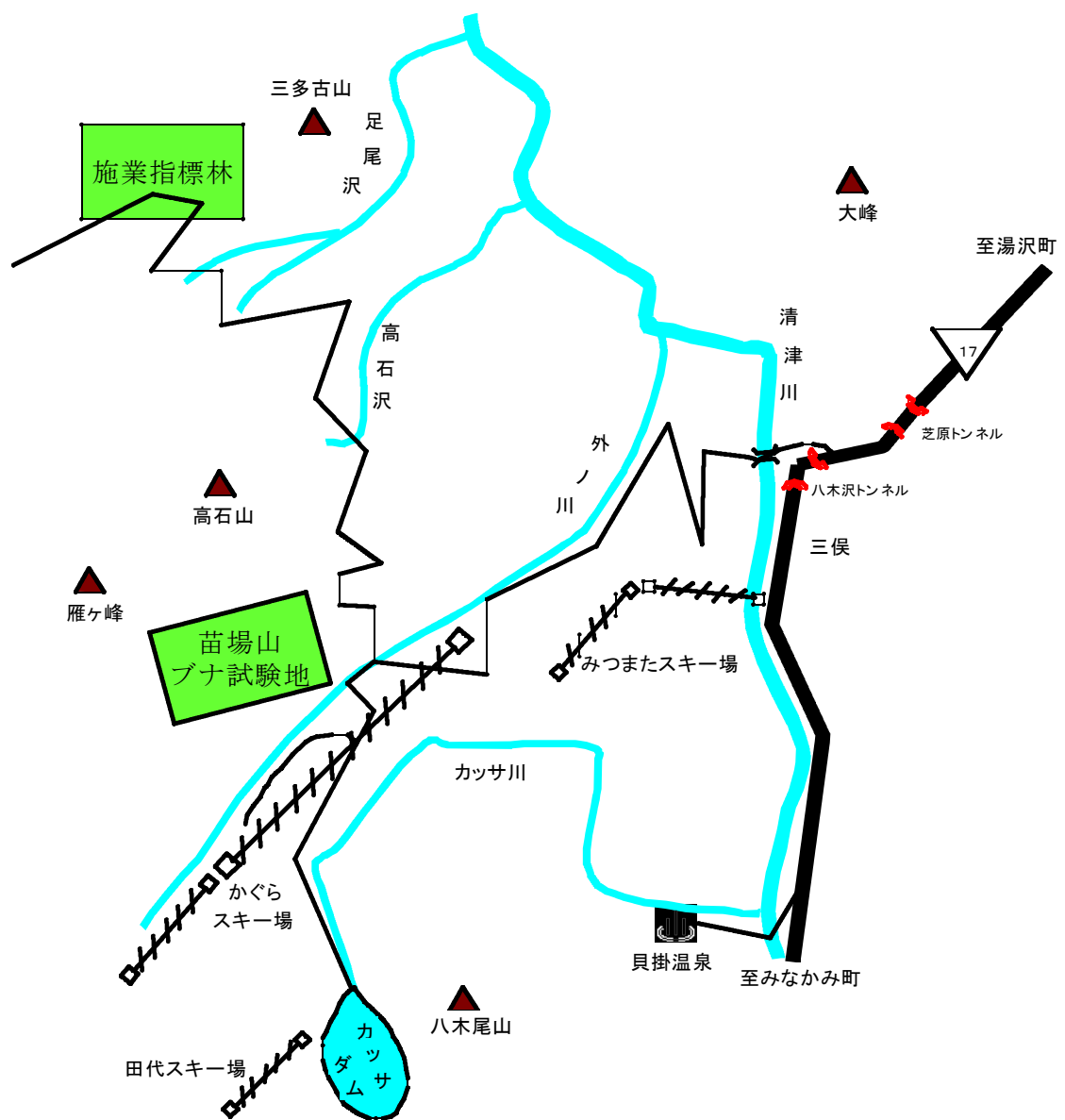
（設定当時の状況）



(現在の森林状況)



(現在の林内状況)



(3) 当署に係るブナの研究発表の紹介

ブナの業務研究発表集目録

部門別	発表年度・発行No.	演 題(概 要)	発 表 者
森林施業	昭49・林研19	新たな森林施業について(ブナ林) (保安林内における母樹、小径木保残等を考慮した集材システムの実施による結果の考察)	菊地 実 外
	昭49・林研19	上部ブナ帯の天然更新技術の確立 (伐採率及び地床処理区分ごとの稚樹の消長及び伸長の推移等による考察)	佐藤 央治 外
	昭50・林研20	上部ブナ帯の天然更新技術の確立 (伐採率70%区の地床処理区分ごとの稚樹の消長及び伸長等の推移による考察)	佐藤 央治 外
	昭51・業研21	上部ブナ帯の天然更新技術の確立 (適正な母樹保残本数と伐採率70%区の無処理と刈払区ごとの稚樹の消長及び伸長等の比較による考察)	佐藤 央治 外
	昭51・業研21	施業指標林の設定(ブナの皆伐天然更新) (新たな森林施業に基づき体系化したブナ天然更新技術の実例等についての報告)	阿部 貳夫 外
	昭52・業研22	施業指標林(Ⅱ)(ブナの皆伐天然更新母樹並びに小径木保残作業) (新たな森林施業に基づき体系化したブナ天然更新技術の実例等についての報告)	阿部 貳夫
	昭53・業研23	ブナ林における施業体系の検討(母樹並びに小径木保残作業) (苗場山試験地及び小松原指標林の施業実績を基にした施業体系の確立)	阿部 貳夫
	昭54・業研24	ブナ天然林の現況調査 (ブナ優良林分の追跡調査、樹幹解析等を基に将来予測し、施業体系の指標とする考察)	阿部 貳夫 外
	昭55・業研25	天然林施業法(上部ブナ帯の天然更新法) (母樹保残木の伐採に伴うブナ稚樹への影響調査報告)	大西 満信 外
	昭56・業研26	ブナ林の天然更新(種子の飛散と落下量) (昭和46年以降における種子の飛散、落下量調査に基づく施業体系の考察)	高橋 政昭 外
	昭30・造研	ぶな林の更新樹種判定に資する人工造林試験地の成績について (資料不明)	小倉 七郎
	昭40・41林研	豪雪地帯におけるブナの天然更新(Ⅰ) (ブナ稚樹の残存状況と豊作年における種子の着生、発散状況等の調査報告)	浅田 生郎 外
	昭41・42林研(経)	林地除草剤の空中散布 (資料不明)	田村 敬次郎
育 林	昭42・林研(経)14	航空機による林地除草剤散布と資材運搬 (航空機による除草剤散布箇所の植生調査結果に伴う考察及び資材運搬に係る経済及び安全効果の考察)	田村 敬次郎
	昭45・林研(経)17	ブナの天然更新に関する現況調査 (既往の天然更新済箇所の現況調査を通して、ブナの天然更新を考察)	大島 一男
	昭45・林研(経)17	除草剤の空中散布に関する現況調査 (除草剤空中散布箇所の現況調査から、笹の再生、ブナ・カンパの発生、笹の本数とカンパ類発生の関係を考察)	中沢 泰男
	昭48・林研(経)19	上部ブナ帯の天然更新技術の確立 (種子の飛散と稚樹の消長等調査から適正な母樹保残と地床処理等に係る施業方法の考察)	阿部 貳夫
	昭57・業研27	ブナ稚樹の時期別消長について (ブナ稚樹の発芽から消長までに至る一成長期を追跡調査した結果の考察)	坂内 悦男 外
	昭58・業研28	除草剤使用による天然更新(中間報告) (塩素系除草剤散布による伐採前地床処理箇所の現況調査を実施した結果からの考察)	袖口 功 外
	昭49・林研19	ブナ林の保育について 皆伐跡地更新済箇所の現況調査及び刈払方法別功程調査を実施した結果からの考察	阿部 貳夫 外
	昭51・業研21	ブナ林の保育について 調査区画の追跡・ぼう芽発生調査及び刈払方法別功程調査を実施した結果からの考察	山田 和人 外
	昭45・林研(経)16	ブナまき付養苗試験 (ブナの人工植栽に向けた、苗畑でのまき付養苗試験を実施した結果の考察)	荻野 道夫
	昭51・業研21	ブナまき付苗の養苗 (ブナ苗木の養苗技術体系化に向け、仕立本数別苗成長量、据置、床替試験区ごとの調査結果の報告)	立木 重次 外
	昭42・林研(事)9	天下Ⅰ類箇所の作業方法について (資料不明)	佐藤 松四郎
	昭43・林研(事)10	天下Ⅰ類箇所の集材方法について (資料不明)	村松 文雄
	昭44・林研11	ブナ材の欠点調査について (資料不明)	不破 房夫 外
収 穫	昭50・林研20	新たな森林施業における収穫調査上の問題点 (収穫調査の結果における問題点の列挙と分析)	阿部 貳夫 外

4. ブナの思い出

(1) 大白川地域（昭和30年代）



（鋸挽きによる伐倒玉切り）



（チェーンソーによる伐倒）



（イワテフジの集材機）



（軌道による運材）



（ディーゼル機関車による運材）



（五味沢製品事業所）

※ この「大白川地域」の写真は元長岡営林署職員の浅井芳五郎氏並びに浅井保丸氏のご提供です。ご協力感謝いたします。

(2) 湯沢地域 (昭和30年代~40年代前半)



(チェーンソーによる伐倒玉切り)



(TE57型集材機)



(架線による集材)



(トラッククレーン)



(昭和33年頃の湯沢貯木場全景)



(フォークリフト)



(湯沢貯木場の土場風景)

(3) ブナ養苗の塩沢苗畑



(苗畑全景)



(苗床造り)



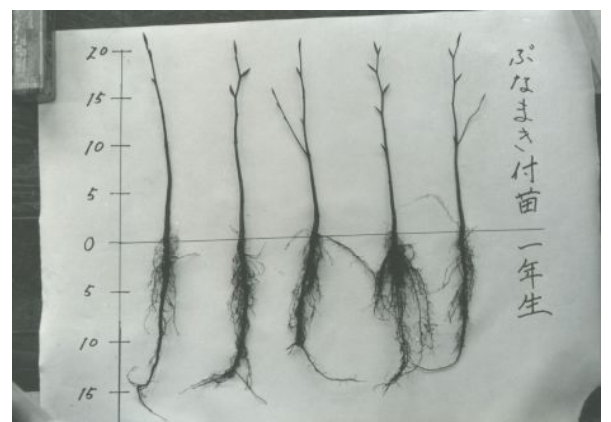
(ブナの種子)



(発芽したブナの稚樹)



(ブナ稚樹の発芽状態)



(ブナ稚樹の生育状態)

※記載箇所へのアクセスは、交通規制等のため通行出来ない場所もありますので、予め調べるなど十分な準備をして下さい。



(ブナ林の住人)

この「中越署のブナ林」は、当管内の国有林に残されている、優れたブナ林の現状をお知らせし、国有林の森林・林業の理解を深めるため、「地域発案システム」として作成しました。



平成18年度 中越森林管理署 中越署のブナ林
発行日 平成18年12月

編集・発行 関東森林管理局 中越森林管理署

〒949-6641 新潟県南魚沼市美佐島61-8

TEL 025-72-2143 FAX 025-72-2143

ホームページ <http://www.kanto.kokuyurin.go.jp/chuetsu/index.html>



この「中越署のブナ林」は、エコ間伐紙を使用しています。